

暮らし・にぎわい再生事業計画

府中駅・府中本町駅周辺地区

平成28年6月17日

東京都府中市

1. 再生事業計画区域

①計画区域の位置

東京都府中市本町1丁目14番ほか

②計画区域の面積

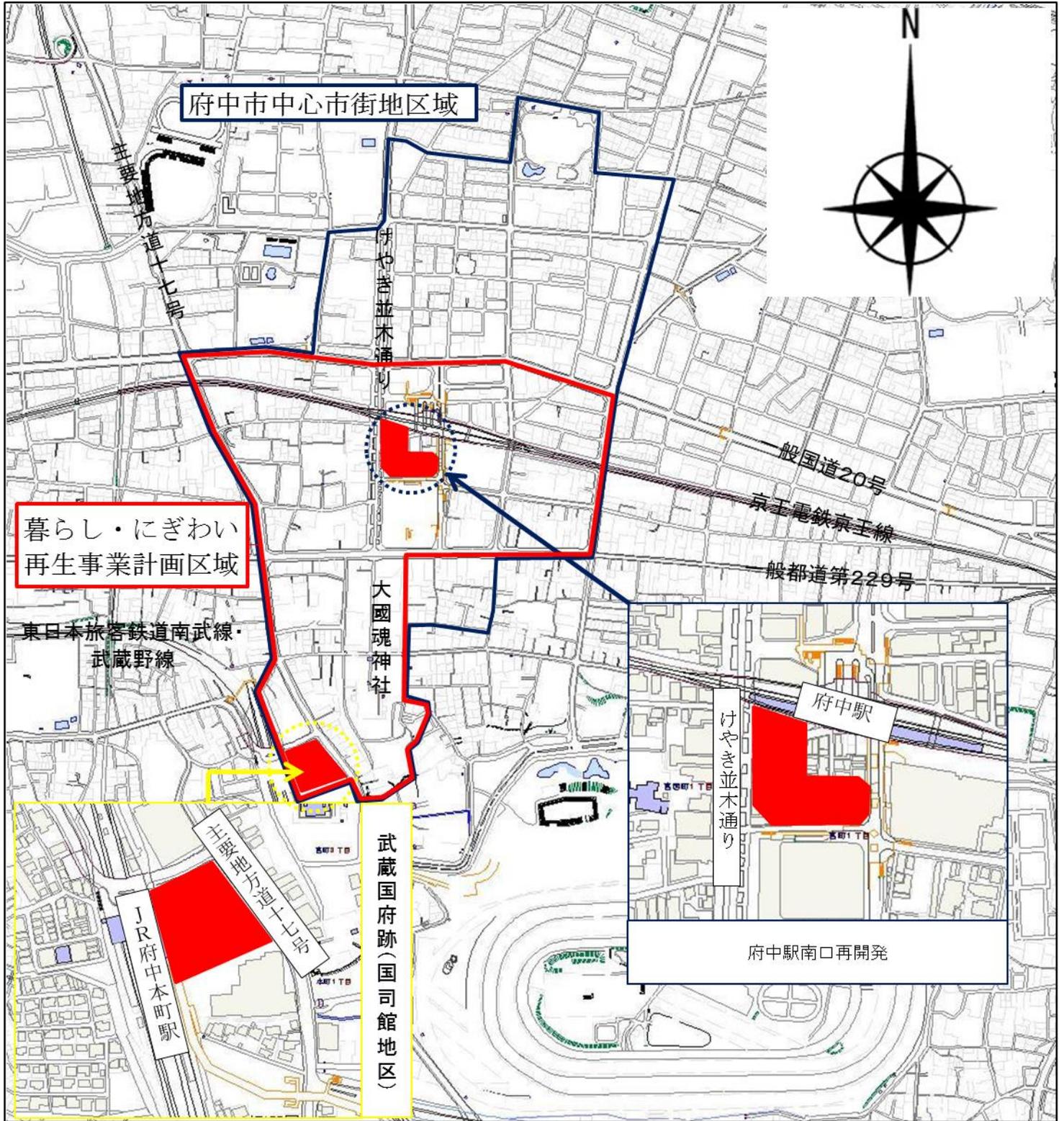
約35.89ha

③区域設定の考え方

本地区は、府中市の中心市街地活性化基本計画区域において商業、観光、文化及び歴史の核となる、京王線府中駅及びJR線府中本町駅周辺部に位置している。現在、事業中である府中駅南口再開発事業が終盤を迎え、本施設には市民が能動的に利用する市民活動拠点施設等を整備する。また、府中本町駅東部に位置する国史跡武蔵国府跡国司館地区では、徳川家康府中御殿跡とされる遺構が発見され、国史跡の保存を大前提とした本質的価値を高めていきながら、「日本一JRの駅に近い国史跡」という立地を生かし、市内外から様々な人たちが集い憩うことのできる空間を創出する。

そこで、本地区では、暮らしにぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援により、商業の活性化に資する府中駅南口再開発事業施設及び市民交流の場として機能する国司館地区をそれぞれ整備し、「憩いと賑わいの空間」を創出するとともに中心市街地活性化を推進してため、約35.89haを再生事業計画区域として設定した。

【位置図】(縮尺 1/400)



2. 総事業費

約3, 442百万円

3. 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

1) 再生事業計画区域が抱える問題	<ul style="list-style-type: none">・ 中心市街地における歩行者通行量の減少 (平成18年度22,953人→平成27年度19,378人)・ 観光客などが、中心市街地を回遊したくなる仕掛けづくりができていない。
2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設(箇条書きで記載)	<ul style="list-style-type: none">・ 府中駅南口再開発施設・・・ 市民活動拠点施設(会議室・ホール等)、音楽練習室・ 国司館地区・・・ 市民交流スペース、カフェ
3) 都市機能導入施設の整備効果	<ul style="list-style-type: none">・ 国司館地区の整備により、中心市街地のみならず、中心市街地周辺及び郊外からも人が訪れることとなる。(利用者数予測 約30万人/年)・ 府中駅南口再開発施設、国司館地区利用者の一部がそれぞれの施設へ回遊することにより、中心市街地の賑わい創出や商店街の売上増加などが見込まれる。

4. 都市機能導入施設及び公開空地等の整備計画の概要(全体概要)

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公共施設の種類(注1)	事業期間
①	府中駅南口再開発	コア事業	都市機能まちなか立地支援	地域交流施設	H28-H29
②	国司館地区	コア事業	都市機能まちなか立地支援	地域交流施設	H28-H31

(注1) 公共施設の種類は、暮らし・にぎわい再生事業制度要綱第2条三に規定される

「社会福祉施設」「地域交流施設」「教育文化施設」「医療施設」「その他(その他地域住民等の共同の福祉又は利便のために必要な施設で、多数の者が出入りし利用することが想定される施設)」のうちから選択すること。

※コア事業、附帯事業、その他関連事業(まち交等)ごとに記入すること。

※位置が分かるように、番号を別添1の図面に記載すること。

【事業スケジュール】

番号	H28	H29	H30	H31
①	→			
②	→			

(※計画作成時以降のスケジュールについて、記載すること)

5. 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	府中駅南口再開発	事業期間	H28～H29
補助種別		コア事業		補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数		地上 15 階 地下 4 階		構造	耐火構造
敷地面積 (㎡)		約 6,731 ㎡		延床面積 (㎡)	57,052 ㎡
施設用途（都市機能導入施設の概要）					
地域交流施設					

番号	②	施設名	国司館地区	事業期間	H28～H31
補助種別		コア事業		補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数		地上 3 階		構造	耐火構造
敷地面積 (㎡)		7812.76 ㎡		延床面積 (㎡)	982.7 ㎡
施設用途（都市機能導入施設の概要）					
地域交流施設					